

COVID-19 下での APF 各コミュニティの状況 分かち合い

要約

- ✓ COVID-19 パンデミックの影響により、報告したコミュニティ全てで zoom などバーチャル M を取り入れていた (ただし、zoom 対応できたコミュニティだけが、今回の zoom 会議に参加しているはず)
- ✓ バーチャルに移行した結果、献金を集めることが難しくなっている (ニュージーランド、バングラデシュ、香港、ネパール、北インド NERF、北パキスタン、クウェート、タイ、UAE)
- ✓ バーチャルでも電子決済などでの献金を続けられている (オーストラリア、ハワイ、日本)
- ✓ バーチャルで繋がったニューカマーを迎える難しさ (北パキスタン、日本)
- ✓ バーチャルになったおかげでたくさんのニューカマーが NA につながった (インドネシア、イラン、ハワイ)、むしろバーチャル M が普通になってきた (イラン、南インド SOSONA、ハワイ)
- ✓ バーチャル M になったことで、従来ミーティングに来られなかった層が NA に繋がることのできた (タイ、インドネシア)。メンバーが増えた (ニュージーランド、イラン)
- ✓ ロックダウンや規制が解け、会場ミーティングが再開してからも、「ハイブリッド M」(会場+バーチャル) を選択し、バーチャル M を続けている (インドネシア、ニュージーランド、シンガポール)
- ✓ バーチャルになったことで、サービスの経費 (ASC や RSC に集まる交通費、ミーティング等の会場費など) が抑えられるメリット (ハワイ、ニュージーランド、シンガポール)
- ✓ バーチャルになったことで、コミュニケーションが増えた (オーストラリア、北インド NERF)
国境を越えたサポート・コミュニケーションが得られた (日本、北インド NERF、北パキスタン、タイ、UAE)

■ 各コミュニティ報告

【オーストラリア】

- ・ RD がエリアへ、zoom アカウントを作るよう指示した
- ・ ウェブサイトに情報流す係を作り、情報が行き渡るよう手配した
- ・ 献金はそれなりに集まっている。献金 (fund flow) の話し合いは常にしています
- ・ ロックダウン解除後、会場ミーティングを再開するための説明会を行った
- ・ zoom などのバーチャルに移行したため、むしろ以前より密にコミュニケーションがとれるようになった

【バングラデシュ】

- ・ 28 グループあった
- ・ エリア毎に zoom アカウントを作った
- ・ 会場で対面のミーティングがなくなったため、ニューカマーを迎える難しさ。影響大きい。
- ・ 会場 M 再開時には、グループ毎にソーシャルディスタンス考慮している
- ・ COVID-19 が落ち着いたら、APF へ FD のリクエストしたい
- ・ COVID-19 のために献金は 9 割減少した

【バーレーン】

- ・ zoom を使用している

【ハワイ】

※後日、追加で詳細なレポートがあった→この資料 p.6～

- ・ 会場 M は中止になった
- 一度再開したが、政府の要請でまた中止になった
- ・ ほとんどのミーティングはバーチャルに移行した
 - ・ いくつかのグループは（危険な状況に関わらず）会場ミーティングをあけているため、リージョンのウェブサイトで自分たちで責任を引き受けるよう注意喚起した
 - ・ コンベンション中止した
 - ・ ふだんは RSC 会議のための ASR たちの移動に大きな経費がかかっているのが、不要になった
 - ・ 献金について（→p.6～ 後日のレポートに詳細）

【ニュージーランド】

- ・ 財政に大きな打撃。献金集められない。予測できない
- ・ 国内の 1/3 がロックダウンし、2/3 はしなかった。地域によって差が生じた
- ・ バーチャル M に移行したことで、ミーティング参加者が 15%増えた。
- ・ このため再開した会場で「ハイブリッド M」（会場＋バーチャル）が開かれている。
- ・ 伝統 7 の問題。バーチャル M に参加するだけで献金しない人たち
- ・ ASC もバーチャルになり、経費がかからなくなっているのはバーチャルのメリット

【香港】

- ・ 全てバーチャル M に移行
- ・ サービスメンバーの不足
- ・ 会場 M を再開したが、会場に 4 人以上集まれない（ソーシャルディスタンス）。このためミーティング会場を増やすことを検討している。ひとつのミーティングに 50～60 人集まることもあるため。
- ・ COVID-19 に関わらず、いま国の情勢自体が大変なことになっており、影響を受けている
- ・ 献金は他のコミュニティと同様、少なくなっており問題である

【南インド SOSONA India 】

- ・ 15 のエリアが活動し、174 グループ、13,000 人のメンバーがいる
- ・ ミーティングはバーチャルに移行し、いまではオンライン M が普通になってきた
- ・ ユニティデイのイベントやワークショップなど、全てバーチャルで開催した
- ・ RSC 会議もバーチャルで。
- ・ これらのバーチャルへの移行のため、アドホックコミティ（臨時のコミティ）をたくさん作って対応した
- ・ 2021 年 APF 会議とコンベンションは、ベンガルールでの現地開催は断念。（コンベンションは 2022 に延期してベンガルール開催を検討）

【インドネシア】

- ・コミティ活動ができなくなっている
 - ・バーチャル M ニューカマー参加増えている
 - ・バーチャル M に移行したことで、女性メンバーが増えた
 - ・バリ島に NA 文献を閲覧できる図書館のような場所を作った
 - ・バリでは「ハイブリッド M」をやっている（バーチャル＋会場）
 - ・H&I 刑務所へ文献を送ろうとしている（訪問できないため）
 - ・PI 用ビデオ（CM）を作った。APF PR ワークグループの協力による
- YouTube で見られる。英語版と現地語版
- ・NA は非合法の集まりだったが、いまは合法になった

【イラン】

- ・バーチャル M 1,500 ヶ所
- ・COVID-19 に対応し、ウェブサイトを作り直した。350 万アクセスがあった
- ・新しいウェブサイトには「シェアリングルーム」を設置した（掲示板のようなものか？）
- ・バーチャル M のみでつながったニューカマーがたくさんいる。今後はこれが普通になっていくのではと感じている
- ・政策により NA ミーティングを開くには国の免許が必要だった。この免許の期間が 4 年延びた。
- ・また、バーチャル M は免許いらなかったが、今後は必要になっていく可能性がある

【日本】

- ・バーチャル M への移行にあたって、混乱があったため、COVID-19 対応のワークグループ（アドホックコミティ）を作り、ウェブサイトにページを作った。
- ・以前からある SNS（LINE）での ASR の情報網を活用した
- ・PI コミティから全国エリアへ、PI 先への情報提供を呼びかけた
- ・献金は日本の電子マネーのシステム（PayPay など）で、ある程度集めている
- ・コンベンションは中止
- ・RSC 会議は規模縮小してバーチャルで行った
- ・PI・H&I に行けなくなった。ニュースレター、ビデオレター、バーチャル M を使ってメッセージを運び続けている
- ・バーチャルでつながったニューカマーに NA の暖かさやつながりを感じてもらうため、バーチャルでワークショップやイベントを行った。この際ゲストスピーカーやワークショップのファシリテーターとして、APF のほかのコミュニティのメンバーに協力してもらった
- ・APF への献金は、この会議で APF 全体の状況を知り、日本のコミュニティへ伝えてから検討したい

【クウェート】

- ・政府の方針で国内すべての活動に制限
- ・献金まったく途絶えている。クウェートでは PayPal を使うのが難しい。面積が小さい国なので平常時は会って受け渡しするのだが。APF へ献金できるだけの残高はあるが、送金する手段がない
- ・5 ヶ月以上にわたって H&I も PR も休止した
- ・国が完全にロックダウンしたため、(NAWS からの) 文献の供給が途絶えた

【ネパール】

- ・会場 M すべて休止
- ・zoom で週 6 回の M を行っている
- ・ネパールリージョンのサービス機構が最近できた
- ・ネパリ語、ほか多言語の文献翻訳に取り組んでおり、ステップワーキングガイドほかネパリ語文献、いくつかの IP を作ることができた
- ・バーチャル M になってから献金を集めることができない。したがって APF への献金も難しい

【北インド (NERF India)】

- ・AD が新しい人になった
- ・全ての M がバーチャルに移行した
- ・ユニティデイイベントを行った
- ・バーチャル移行にともない献金が集められなかったが、オンラインでの献金を検討している。次の RSC で話し合う。
- ・この状況を前向きに捉えると、必死なので他のコミュニティ（他の国の NA）から必死に学んだし、他コミュニティとのコミュニケーションが深まった。「パンデミックのおかげでオーストラリアやアメリカと一緒にミーティングできた」

【北パキスタン】

- ・3 月より M はバーチャルに移行。はじめは現地メンバーの参加が少なく、インドやアメリカのメンバーが参加して支えてくれた。
- ・3 つあったバーチャル M を 1 つに統合した（人数少ないため）
- ・バーチャルミーティングの献金は少ない
- ・北パキスタンにはリージョンがない。エリアしかない
- ・COVID-19 の打撃は大きかった
- ・ユニティデイには実際に集まるイベントを行い、55 人が参加した。これは北パキスタンではとても多い人数。
- ・Living clean、Basic text などの文献が必要、APF に支援を要請
- ・10/15 に ASC をひらく

【シンガポール】

- ・14 ケ所のミーティングがあったが、COVID-19 により 13 ケ所のバーチャル M になった
- ・パンデミック中に、バーチャルで 14 名のニューカマーがつながった
- ・中間施設より、バーチャル M をしてほしいという依頼があった
- ・PR イベントを行った（バーチャル？）
- ・ニュースレターを作った
- ・初めての「ハイブリッド M」（会場＋バーチャル）を、まもなく始める
- ・PR コミティがバーチャルのイベントを企画している
- ・会場が休止しバーチャルになったため、会場費がかからなくなった。その分余剰が出たので APF に献金した

【タイ】

- ・ 7 月に全ての会場 M を閉めたが、いまはすべて再開している
- ・ バーチャル M で献金が集まらない
- ・ タイの NA コミュニティを支えていた Expat 達が自国へ帰ったが、バーチャル M で変わらず集まり続け、PayPal で献金している
- ・ COVID-19 により一体性が損なわれたため、ユニティデイイベントを行った
- ・ COVID-19 でバーチャル M になったことで、今まで少なかった現地タイ人が、タイ人だけのミーティングを開けるようになった
- ・ 新しいアイデア 将来のタイの NA を考えよう、というワークショップを企画している

【UAE】

- ・ 政府の許可がないと NA の活動ができない国。政府とのやりとりを進めているさいちゅうに COVID-19 パンデミックが起きた
- ・ バーチャル M を、ネパール、ファルシ（イラン）の協力で開くことができる
- ・ 会場ミーティングも再開しつつある
- ・ 献金は集められずにいる
- ・ WSO への献金は行う予定

会議後に届いた、ハワイリージョンからの報告 ※文中の（ ）は訳注です

Report To APF For The NA Hawaii Community

Half-Year APF Meeting Report

I feel remiss in my reporting to the APF considering what we in Hawaii have experienced since February's annual meeting of the APF. I wish to make a better, detailed report in writing.

私たちが 2 月の APF 会議以来のハワイで経験してきたことを考えると、先日の報告では足りません。より詳細な報告書を作成したいと思います。

Like the rest of the APF communities the COVID-19 pandemic changed the Hawaii NA service bodies and the groups substantially.

APF の他のコミュニティと同様、COVID-19 のパンデミックにより、ハワイの NA のサービス機関とグループは大きく変わりました。

The front line of NA Hawaii is the groups and without being able to meet physically, face-to-face, the groups transitioned to virtual meetings on the Zoom teleconferencing platform.

NA の最前線はグループですが、私たちは直接会うことができなくなり、グループは Zoom でのバーチャルミーティングに移行しました。

This happened over the months of April and May. Since then meetings have closed and opened as usual with the exception that some face-to-face meetings had to re-close due to governmental regulation to reduce the amount of COVID-19 infections. In Honolulu we just came out of another 6 week "lockdown".

これは 4 月と 5 月のことでした。以来、ミーティングは休止するか、COVID-19 感染者を減らすための政府の規制でミーティングを再び閉めた場合を除いては再開しました。ホノルルでは、さらに 6 週間の「ロックダウン」から抜け出しました。（ホノルルではロックダウン解除にさらに 6 週間かかった？）

Of the 116 meetings we started with in March of this year we eventually settled to 65 virtual meetings and 17 face-to-face meetings (as of September 29, 2020). Adjusting the numbers we have 82 active meetings with a loss of 34 meetings since March of this year.

今年の 3 月に開始した 116 ミーティングのうち、最終的には 65 のバーチャルミーティングと 17 の対面ミーティングに落ち着きました（2020 年 9 月 29 日現在）。計算すると、今年の 3 月以降 34 回のミーティングがなくなり、82 回のミーティングが開かれています。

Our website (na-hawaii.org) has changed its format to accommodate the differences between the virtual and physical meetings: one page for virtual and one page for physical meetings. The site used to publish a printable schedule but had to stop that because of technical issues. However we have not received any complaints or queries about that. That probably stems from the Internet nature of life today. But the web servants hope to fix this problem in the future. But it does point out how important the site is for communication to the Fellowship and to the public.

ハワイリージョンの Web サイト (na-hawaii.org) は、バーチャルミーティングと対面ミーティングの違いに対応するた

めにサイトの形式を変更しました。バーチャルミーティング用に 1 ページ、対面ミーティング用に 1 ページです。このサイトは以前は印刷可能なレイアウトでしたが、技術的な問題のためにできなくなりました。ただし、それについて苦情や問い合わせはありません。おそらく今のインターネットの性質に由来するものでしょう。しかし、ウェブサーバントは、将来この問題を修正したいと考えています。フェローシップや一般の人々とのコミュニケーションにとってサイトがいかに重要であるかを指摘しています。

The webservants have been working hard to keep up with all the changes as best as they can. They keep NAWS updated on the meeting directories on a monthly basis.

ウェブサーバントは、可能な限りすべての変更に対応するために懸命に取り組んできました。NAWS は、meeting directories で毎月更新されます。

There are many challenges for the groups conducting virtual meetings and the website has published a link to NAWS resources on how to conduct virtual meetings on the World Wide Web.

バーチャルミーティングを実施するグループには多くの課題があり、ハワイの Web サイトでは、バーチャルミーティングをする方法についての NAWS リソースへのリンクを公開しています。

At the Area level of service activities have come to almost a complete standstill. In the last couple of months some H&I committees are being allowed to carry the message to the addicts in the therapeutic communities. Many of the treatment centers are just letting their clients attend virtually. Correction facilities have not allowed physical or virtual attendance but we hope that will change sooner, not later.

エリアのサービス活動は、ほぼ完全に停止しています。過去数か月の間に、いくつかの〔エリアの〕H&I サブコミティは、治療共同体〔施設〕にいるアディクトにメッセージを伝えることを許可されました。トリートメントセンターの多くは、クライアントにバーチャルに参加させているだけです。矯正施設ではまだ、直接またはバーチャルな出席は許可されていませんが、遅かれ早かれ変更されることを願っています。

To date there have been no NA public relations events reported throughout the state.

Social activities have been cancelled. However we did conduct virtual meetings in place of planned events such as local “gatherings”.

現在まで、ハワイ州全体で NA の PR イベントは報告されていません。

社会に対する活動は中止になりました。ただし、地元のギャザリングなど予定されていたイベントの代わりに、バーチャルミーティングを実施しました。

One of the issues facing virtual groups has been the collection of the Seventh Tradition at the meetings. Many groups have been publishing the link information to donate to NAWS and do not collect funds for themselves (home group members share the cost of a zoom account).

バーチャルのグループが直面している問題のひとつは、ミーティングでの第 7 の伝統〔献金〕を集めることです。多くのグループが NAWS への献金リンクをシェアして、ミーティング参加者が直接 NAWS に寄付する方法をとっており、グループの資金を集めていません（ホームグループのメンバーどうしで、zoom アカountの費用を共同で支払っています）。

Other groups have created a "Venmo" account to collect the Seventh Tradition within the meeting so that expenses for the Zoom account are recouped. What is left over is donated to the Area. The issue that some members have with this method is that Venmo is meant for personal financial accounts, not business accounts. One of our Areas is using a Venmo account for their virtual donations. There haven't been any problems with this arrangement yet I personally hope that service committees move away from Venmo, as it is not a good practice to mingle NA funds with personal funds.

別のグループでは、Zoom アカウントの費用が回収できるよう、ミーティング内で献金を集めるための「Venmo」アカウントを作成しました。支払った残りはエリアに寄付されます。この方法の問題は、Venmo が法人口座ではなく個人の口座と紐づいていることです。私たちのエリアのひとつは、オンライン献金用に Venmo アカウントを使用しています。これ自体には何の問題もありますが、NA 資金と個人資金を混ぜ合わせるのはあまりよくないため、Venmo 以外の方法をとることを個人的に望んでいます。

The Hawaii Regional Service Committee has a PayPal account used for our convention although we have not put it forward to the Hawaii Fellowship to use for donating to Region. Our donations are still through the checking account as far as the Areas are concerned.

ハワイ RSC は、もともとリージョンへの献金用として提供したものではありませんでしたが、コンベンション用の PayPal アカウントを持っていました。なのでエリアからの献金に関しては、リージョンの当座預金口座を通じて行われています。

The Hawaii Regional Service Committee's finances are very good for the moment as we had a generous surplus of funds from our convention in 2019 (our 2020 convention is cancelled for obvious reasons). Our expenses are minimal this year since we did not attend the WSC in person nor are we meeting face-to-face as a service committee (the Region pays for the airfares of trusted servants to the Regional meeting). We also do not buy or sell literature as some regions do so we don't have that expense either (the areas and groups order from NAWS directly).

ハワイ RSC の財政は、2019 年のコンベンション収益から多額の余剰があったため、現時点では非常に良好です（2020 年のコンベンションはわかりきった理由で中止になりました）。今年は、WSC に直接出席したり、サービス委員会として直接会ったりすることはないため、費用は最小限に抑えられます（RSC に出席する信頼できる使用人の航空運賃をリージョンで支払っているため）。また、一部のリージョンのように文献を売買する（NAWS から仕入れる？）こともありません。そのため、その費用もかかりません（エリアやグループは NAWS に直接注文します）。

As far as fund flow is concerned, we are asking that the focus be on making donations to NAWS. The Hawaii Region did send an emergency donation to NAWS for about \$2500, which was the cost of sending the RD-Alt to the WSC 2020. I know a donation was made to the APF this past quarter, I cannot predict what our donation will be this coming quarter.

資金の使い方に関しては、ハワイリージョンでは NAWS へ献金をすることに焦点を当てています。RD-Alt を WSC 2020 に送る費用であった約 2500 ドルを NAWS に緊急献金しました。APF へは前の四半期に APF に献金しましたが、次の四半期の献金がどうなるかは予測できません。

The Hawaii Region purchased a yearly Zoom Pro account for service bodies within the region to use. We felt the account is better shared with other service committees than to be used exclusively by the Hawaii Regional Service Committee.

ハワイリージョンでは、リージョン内のサービス機関が使用できるよう、ZoomPro 年額アカウントを購入しました。このアカウントは、ハワイ RSC が独占的に使用するよりも、他のサービスコミティと共有する方がよいと思いました。

Our region needs to discuss our financial future considering the lack of a convention has put fund flow to a trickle of what it once was. As my predecessors here in Hawaii have said to me, NA's dependence on conventions and fundraisers is a poor foundation for the future.

私たちのリージョンは、コンベンションの中止で、資金がかつてより大幅に減ってしまったことをよく考え、財政の将来について話し合う必要があります。私の前任者が私に言ったように、NA の資金がコンベンションと募金活動に依存することは、将来の NA の基盤を貧弱にしています。

How long will this lack of physical meetings last? How long will we have to tighten the financial belt? What about our donations to the APF and NAWS? As discussed at the World Service Conference the financial model for services will have to change from sales of literature to donations from the Fellowship at large. I see this a great challenge for all of us.

この対面（会場の）ミーティングがない状況はどのくらい続きますか？ 財政をどのくらい引き締める必要がありますか？ APF と NAWS への寄付はどうしますか？ WSC で議論されているように、NA サービスの資金は、文献の売り上げからフェロシップ全体からの献金へ移行していく必要があります。これは私たち全員にとって大きな挑戦だと思います。

This conversation is needed at all levels of service in Hawaii to better position in the future for the still suffering addict and us.

この話し合いは、まだ苦しんでいるアディクトと私たちのために NA を将来よりよいものにするため、ハワイのすべてのサービスレベルで必要です。

The bottom line in all this is that addicts are still coming to NA and that recovery is continuing for us in Hawaii. It's funny to think that there are clean addicts today who have never attended a face-to-face meeting of Narcotics Anonymous. Amazing. 肝心なことは、ハワイではアディクトが NA に来続けており、回復が続いているということです。今日では、NA の対面ミーティングに一度も参加したことがない、バーチャルのミーティングでクリーンになったアディクトがいるなんて不思議ですよ。すごいことです。

May the blessings be.

Erik R

Regional Delegate